

# 鏡川流域パートナーシップだより No.29 R4.12.23



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 鏡川流域内関係人口講座フィールドワーク1日目！

鏡川流域関係人口の創出・拡大に向け開催中の鏡川流域内関係人口講座「高知・鏡川RYOMA流域学校」の第2回講座として、2日間の現地フィールドワークを実施しました。鏡川流域で活躍する人や店舗などを訪れ、自分らしい鏡川との関わり方を考えました。今回は、そのフィールドワークの1日目の様子を紹介します。

### 【1. 鏡川みどりの広場】



電動アシスト付き自転車E-BIKEに乗って出発！鏡川沿いの景色や空気を感じながら次の目的地へと向かいます。

### 【2. 鏡川漁業協同組合】



鏡川の環境保全の取組などを教えていただきました！

### 【3. 宗安寺きのこセンター ほか】



鏡川の水や太陽光を使っておいしいきのこを栽培しています。きくらげの酢物やなめこ汁などをいただきました♪

### 【4. 鏡文化ステーションRIO ほか】



昼食は定食とツガニ汁。旨味が詰まった温かいツガニ汁は受講生や講師陣からも大人気で、おかわりをする人も多数！また、鏡地区を散策し、鏡川上流の風景や水質に触れました。

### 【5. 土佐山桑尾古民家、沈下橋】



昨年度の流域内講座受講生で、土佐山桑尾にて「鏡川・桑尾沈下橋&古民家活用プロジェクト」を立ち上げた林さんにヒアリング。焚火を囲みながら、鏡川上流域の暮らしや困りごと、上流域への「関わりしろ」などを自由に語り合いました！沈下橋から見える鏡川の風景も見どころです。

### 【6. オーベルジュ土佐山, とんとんのお店】



中川地区の皆さんが行う「清流鏡川棚田キャンプ」の準備を少しでもお手伝い。とんとんのお店では、田舎寿司や地域でとれた野菜など、特産品を自由に購入しました。

ほとんどのフィールドワークの訪問先はまちのコイン「ぼっちり」のスポット。各訪問先に置かれたチェックイン QRコードを読み取り、ぼっちりを貯めていきました。



フィールドワークのコーディネートは、昨年度の流域内講座受講生の岡林さんに担当していただきました！E-BIKEを使ってみたい、高知の観光について質問してみたい！という方は、「ぼっちり」の体験チケットを利用すると岡林さんとつながることができます^^



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android